

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月10日	記入者		連絡先	3815
平成18年度部名	消防本部	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
平成19年度部名	消防局	課名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防団運営交付事業				
予算上の事務事業名	消防団運営交付金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市消防団運営交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
消防団の効率的な運営並びに円滑な消防活動を遂行するため、必要な諸活動に要する経費に対し交付する。				(2) 対象(誰、何)	
				各消防団員	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
7月に各消防団から交付申請が提出されたのを受けて各団本部、分団本部に補助金を交付している。交付金の内容については、消防団活動が円滑に行われるように、訓練等に係る経費、軍手や皮手袋、長靴などの消耗品、NHK受信料やガス料金等の管理費、コピー用紙などの事務用品を用途として補助している。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
名称は異なるが、消防団に対して活動の運営費を補助している。					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	3,977,000	3,607,000	7,175,000	9,404,000	10,304,000
一般財源	3,977,000	3,607,000	7,175,000	9,404,000	10,304,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	3,977,000	3,607,000	7,175,000	9,404,000	10,304,000
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	消防団運営交付事業			対象名称 と単位	消防団員1,314人
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	1	1	1	1	1
対象数	762	762	1,314	1,707	1,707
単位あたり経費(円)	1	1	1	1	1
前年度比		1.00	0.58	0.77	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	消防団員数（人）		指標式と指標の説明	団員割と均等割	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3,977,200.0	3,607,200.0	7,175,000.0		
目標	3,977,200.0	3,607,200.0	7,175,000.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	消防団員数（人）		指標式と指標の説明	団員割と均等割	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3,977,200.0	3,607,200.0	7,175,000.0		
目標	3,977,200.0	3,607,200.0	7,175,000.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		消防団活動に必要な経費を補うための事業であり適正な交付額である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
18年度より交付金の使用用途として、交際費の支出項目を削除した。			合併により5団が対象となることから、支給に遺漏がないようにする。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		消防団員の確保や活動状況等の成果を検証し、効果的な事業実施を図るとともに事業内容の精査を行うこと。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			